

教への庭から

新型コロナウイルス感染

拡大の影響から、生きていくことは、あたりまえでないことを、本当に知らされました。現在、普通の生活ができない状況が続いていますが、一日も早くいつもの日常が戻るよう、収束を願うばかりです。コロナ禍などないかつての「あたりまえ」の日々は、「おかげさま」の毎日だったことをあらためて感じます。

ウェブサイトを調べると、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中国で工場や交通が止まり、中国の大気汚染が改善され、九州へ飛来する汚染物質が減ったため、九州の大気も劇的に改善したそうです。さらにインドではヒマラヤ山脈がはつきり見えるようになったそうです。

新型コロナと地球

出雲市斐川町・仁照寺住職 江角 弘道

新型コロナウイルスの出のシナリオでは57万人、世のすべてが人間と同じように、今は地球の自浄作用である。現は地球の自浄作用である。世界では最悪6800万人が死亡するとの驚くべき推定。強制的に解決しようとして、地球の自浄作用、自然治癒。しかし、新型コロナウイルス沈地球の自浄作用、自然治癒



挿絵 平尾恵郷

静化後の経済活動再開によって、中国全土で大気汚染が再び悪化しているそうです。また、新型コロナウイルスで死亡する日本人は最悪そこには、地・水・火・風「いのち」があると考えた祈ります。

この「地球は生きている」という思いは、私たちの奥深い直感とマッチしているようです。私たちは命の大本は、宇宙物理学によれば、宇宙創成時のビッグバンの光から粒子が生成され、その粒子が結合して、多くの銀河系ができ、天の川銀河の中に太陽系ができ、太陽系の中に地球ができたと考えられています。地球誕生から6億年後に、海で生命が誕生したといわれています。

このように物質から生命が誕生したことを考えれば、生物にはもちろん、無生物にも拡大した意味で、染収束をしてくれることを祈ります。